The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	懐徳堂記事
Author(s)	
Citation	懐徳. 1939, 17, p. 55-56
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/89036
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

懷德堂記事

▲記念祭典　昭和十三年十月八日記念祭典を執行し、終つて文學博士時野谷常三郎先生の『第一回日英同盟の成立とドイツ帝國』と題する講演あり。（本誌所載）

▲大江文城氏　同十四年二月一日前松山高等學校教授大江文城氏に本堂常任講師を囑託す。

▲舊懷德堂水哉館遺書遺品受贈　同年三月十四日中井木菟麻呂氏より大阪府立圖書館に寄託せる左の舊懷德堂及水哉館の遺書遺品を寄贈せらる。

懷德堂遺書　八十一點
同　遺品　四十九點
水哉館遺書　百二十三點
同　遺品　十六點
共計遺書　二百〇四點
遺品　六十五點

因て當日中井木菟麻呂令妹終子兩氏、及び本堂より吉田助教授、岡野幹事等同館に至り、長田館長立會の下に點檢を了して本堂に搬入、之を祠堂前に置き、本誌附錄所載の如く、中井氏は告文を朗讀の後、壇下にて同氏より寄進に就ての挨拶あり、次で理事代表として木間瀨理事の謝辭ありて滯りなく受納の式を了せり。

▲井上赤水先生の墓發見　過般木谷蓬吟氏が河内高安村神光寺（三宅萬年先生、同春樓先生の墓所）境内に於て偶然舊懷德堂助講井上赤

水先生の墓を發見したる報あり、因て同年六月十八日吉田助教授、藤塚書記、野口、太田、山本、酒井、白井、武藤の聽講生と共に、入江來布氏の案内にて同寺を訪ね、赤水先生の墓を掃ひ、先賢の墓を寫眞に收む。

▲支那語講習會　同年七月一日より八月五日迄毎週火、木、土曜午後七時より九時迄、關西學院教授張源祥氏を講師として初歩支那語講習會を開く、受講者九十名にして大講堂に溢るゝの盛況なりき。

▲伊藤有不爲齋遺書の受贈　同年七月八日故伊藤介夫氏の遺族より有不爲齋文庫所藏の内、懷德堂關係書籍凡五十九種を寄贈せらる。

（本號附錄參看）

堂友會記事

酒井全太郎記

▲昭和十三年十月八日

午後二時より恒祭を擧行せられ、會員一同祭典に奉仕する。會誌第十六號を刊行頒布する。

▲十月十六日

懷德堂を會場として、斯文會日本漢學會主催の漢學大會を開催せらる。會員有志數名出席する。

▲十二月十五日

萬葉集講義終りて後、午後七時三十分より小講堂にて期末茶話會を開く。會員音代君の大阪の話、神武天皇の話、成田先生の和歌俳句